

2012年

ILC グローバル・アライアンス年次総会

ILCグローバル・アライアンス年次総会は、2012年5月26日から28日にかけてプラハで開催された。

1日目は共同研究プロジェクトについて、2日目は各国の活動報告とアライアンスの組織運営のあり方についてそれぞれ議論を展開した。

さらに3日目は第11回IFA (International Federation on Aging=国際高齢者連盟)世界会議のプレカンファレンスとして、アライアンスがシンポジウムを主催し、世界に向けて「Productive Aging」を大々的に発信した。

■ 共同プロジェクト会議

現行プロジェクト

まず、日本よりILC GAとしては初めての7カ国(フランス、イギリス、イスラエル、オランダ、チェコ、アメリカ)に及ぶメンバーの協力によって行われた「理想の看取りと死に関する国際比較研究」について、成果の一部を発表するとともに今後の発展計画案を示した。

また、イスラエルより、「世界の家族介護支援システム」に関する研究の必要性が強調された。さらに、英国からは、各国ILCの協力により「各国における世帯構成および世代間関係の展望」を刊行したことが報告された。

提案プロジェクト

1. Active and Healthy Aging プロジェクト

報告者：日本・フランス

「定年後の健康状態や活動状況、生活満足度についての国際比較調査」を提案。

協力可能なILCで開始することが承認された。

2. 認知症プロジェクト

報告者：イギリス

WHOも認知症の問題を大きく取り上げていることを受け、ILC グローバル・アライアンスでも今後とも積極的に取り組むべきとの方針が確認された。

3. 国際老年学会(IAGG)ソウル大会2013での発表について

報告者：イスラエル

ILC グローバル・アライアンスとしては、2つの国際シンポジウムを申請する予定。

- 終末期ケアについて
日本、イスラエル、チェコ、シンガポール
- 生活習慣病予防について
ドミニカ共和国、アルゼンチン、南アフリカ、オランダ

4. BRICS Countries Forum on Aging

報告者：中国

ILC中国と中国老年学会の主催により、国際フォーラムを開催することが報告された。IFA国際会議に先立って5月27日にILCブラジル、インド、中国、南アフリカのメンバーにロシアからのゲストを加え、「BRICS諸国における高齢化の課題と政策」をテーマに行われた。

また、IAGGソウル大会においては、「BRICS諸国における所得保障と高齢化」をテーマに国際シンポジウムを開催する予定。

5. IFA国際会議プレカンファレンス ILC GA主催国際シンポジウム

報告者：チェコ

5月28日にILCグローバル・アライアンス主催で開催するProductive Agingに関するシンポジウムの成果を





報告書として、刊行予定であることが報告された。

■ 各国の活動報告とアライアンスの組織運営のあり方

1. 2011年ライデン年次総会議事録

前年度開催のライデン総会の議事録が承認された。

2. ILCグローバル・アライアンス事務局活動報告

国連関係活動および各種シンポジウム等への出席等の活動報告がなされた。

3. 財政状況報告

昨年度の収支決算および今年度の収支予算について承認された。

4. 今後の財政基盤について

ILCグローバル・アライアンスの財政ならびに組織体制基盤の整備・発展計画については、委員会を組成し、検討・提案していくことが確認された。

5. ILC グローバル・アライアンスウェブサイト運営報告

ウェブサイトの更なる充実を目指し、ILC各国より情報を定期的に送付することが提案された。

6. 地域組織の組成について

ILC英国提案の「地域組織の組成」について討議した。

7. 国連との関係

国連NGOへの登録が完了。今後、国連プログラムへの参加や高齢者の権利に関する作業部会への参加の他、グローバル・アライアンスとして必要に応じて他の国際団体と共同で声明支持などの行動をとっていくことが確認された。

8. 各国活動報告

14か国の活動状況が報告された。

日本は、フランスとの共同プロジェクトであるActive & Healthy Agingプロジェクトへの協力を前日に引き続き再度要請した。また、日本の高齢者像についてまとめた英文刊行物「Profile of Older Japanese」への言及とともに、「プロダクティブ・エイジングと健康増進に関する国際比較調査研究事業」を新規研究プロジェ

クトとして開始することを報告し、改めて長寿先進国日本の世界に対する役割の自覚を表明した。

9. 組織体制と手続き

従来の規約を見直すための検討委員会および次期(2013~16) 共同理事長の選出のための検討委員会が組成された。

10. 次年度の年次総会について

2013年6月19日～21日 於：シンガポール

- 国際シンポジウム開催予定 テーマ未定

■ ILC年次総会出席者

● 共同議長

Monica Ferreira
南アフリカ

Baroness Sally Greengross
英国

● 投票メンバー

Kavita Siva
アメリカ

Kunio Mizuta
日本

Françoise Forette
フランス

Rosy Pereyra
ドミニカ共和国

Lia Daichiman
アルゼンチン

Marieke van del Waal
オランダ

Sara Caramel
イスラエル

Susana Concorde
シンガポール

Iva Holmerova
チェコ

Alexandre Kalache
ブラジル

Du Peng
中国

Masako Osako
事務局

● 非投票メンバー

Yoko Shido
日本

Shinichi Ogami
日本

Marie-Anne Brieu
フランス

Noreen Siba
イギリス

Sebastiana Kalula
南アフリカ

Angelique Chan
シンガポール

Louise Plouffe
ブラジル

David Matchar
シンガポール

欠席

インド